



中小企業庁は、飛躍的成長を目指そうとする取組、優れたビジネスモデルを構築している中小企業を「羽ばたく中小企業・小規模事業者」として毎年300社を選定、表彰しています。弊社は選ばれた300社のなかでもさらに高い評価を受け、2023年度「海外展開」部門の最優秀企業の栄誉に浴しました。

海外での積極的な販路開拓が評価され 「海外展開」分野の最優秀企業に選定

2023年度は受賞分野の見直しがあり、「事業面構築・生産性向上」、「海外展開」、「GX」、「DX」、「人への投資・環境整備」の5分野が設定され、現場に精通した全国の経済団体や金融機関などからの推薦を受け、経済戦略等に明るい有識者で構成された審査委員による選定、中小企業経営支援分科会による審議を経てわが国のイノベーションを支える取組、海外での積極的な販路開拓、省エネや脱炭素化に貢献する取組、データやデジタル技術の活用、多様な人材といった働く環境の整備など、さまざまな分野で活躍している300社が選定されました。



弊社は「海外展開」部門にノミネートされ、最優秀企業の栄誉に浴し、授賞式には社長代理で専務の山本が出席して、斎藤経済産業大臣より表彰状を受領しました。

世界22カ国で愛用される山本製品 製品基準は常に「世界標準」

ご存知のように弊社はすべての製品を尾道工場だけで造っています。しかし、私たちの製品は常に海外で使われることを想定し、製品の設計思想や製品基準は常に世界標準の仕様です。

現在、山本製作所の製品は世界22カ国で使われ、洗濯機と乾燥機を製造する国内メーカーで唯一北米での厳しい認証を取得し数多くの機器を輸出しています。今回の受賞は、こうした実績と創業当初から変わらない姿勢と努力が評価されたものと社長以下、全ての社員が心から喜び、感謝しています。

国内だけでなく、世界中のより多くの人に使っていただき、喜びにあふれた生活の一助になる……このミッションを実現するために、私たちはこれからも「世界標準」を貫きます。



▲「フォーエバーマシン」と
海外で高く評価される輸出モデル

今、最も注目すべきモデルとなる中小企業に与えられる
「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選ばれました。

——これからも「世界標準」の道を歩み続けます。

売上100億を達成するために

YAMAMOTOの未来を形づくる新工場プロジェクト

円安などの影響を受け、多くの企業が厳しい経営環境に置かれています。ともすれば内向き、消極的になりがちですが、私たちはむしろこの環境変化をチャンスととらえています。多種多様な製品を開発、生産できる総合メーカーとしての強み、そしてマーケティング力を生かして、海外市場の本格的な開拓、国内市場のさらなる拡大と深耕にチャレンジしていく方針です。「売上100億円」、これを早く達成することを目標にさまざまな施策を実行に移しています。「新山波工場」と「新塗装工場」の建設はその柱で、YAMAMOTOの未来を形づくる重要な役割をになっています。

TPSの成果を凝縮。さらに高品質でライフタイムコストに優れた製品を。

弊社は2021年度にTPS(トヨタ生産方式)を採用、導入。以来、生産システムの効率化、同期化、品質向上を徹底して追求してきたその成果と弊社がこれまで蓄積してきた経験や技術、ノウハウの全てを注ぎ込んだ集大成ともいえる工場です。

新山波工場 世界展開を視野に入れた
海外向け乾燥機の新工場

「新山波工場」は主に海外向け乾燥機の製造をにない、板金から溶接、組立、塗装までをすべて一貫したラインで行います。

これまで乾燥機はアジア圏での販売を行なっていましたが、その他の地域、国での販売実績はありませんでした。売り上げ100億円達成のためにはこの分野での海外市場開拓は不可欠でしたが、新たに製品を開発しアメリカ市場への本格的な参入を決定。さらにヨーロッパへと市場を拡大、世界展開も視野に入れて建設を決めたのが「新山波工場」です。



新山波工場 完成予想図

2025年12月着工予定

敷地面積 4,991.03㎡ / 建物面積 2,848㎡



新塗装工場 完成予想図

2025年1月稼働予定

敷地面積 990.59㎡ / 建物面積 475.12㎡

新塗装工場 内製率をさらに高め、品質を向上。
適正価格維持に努力。

「新山波工場」の隣接地に建設中の新塗装工場の最大の特徴は、下地処理から塗装、補正、仕上げまでを完全自動化した製造ラインです。現在、塗装は約50%を外部に依頼していますが、新塗装工場が完成すればほぼ全ての塗装を内製化することができます。とりわけ品質を左右する下地処理の段階から内製化することでチェックの目が細部にまで行き届き、品質向上に確実につながります。

資材などの高騰は続いていますが、自助努力によるコスト削減を徹底的に追求し価格は可能な限り現行を維持(2025年度まで据置きの方針)し、お客様に貢献したいと願っています。

